

脱炭素横浜青葉しみんの会
移動・交通チームの活動について

交通分野での脱炭素社会づくり（EVの促進等）

移動・交通チームリーダー 久保山金雄

2024年12月15日



青葉区は坂道 が多い



高齢者も



交通困難地域も



駅前の渋滞も



駅前の渋滞も

脱炭素かわさきを進める市民の会/移動・交通 チームとタッグを組み活動

青葉気候市民会議の提案

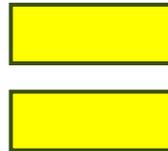
(2024.7)

公共交通のネットワークが充実し利用しやすいまち(15項目)

交通手段が脱炭素化しているまち(5項目)

徒歩・自転車での移動が便利なまち(14項目)

効率的で利便性の良いまち(9項目)



脱炭素かわさき市民会議の提案

(2021.11)

公共交通機関が便利で自家用車に依存せずに生活できるまち(10項目)

徒歩・自転車で暮らせるまち(7項目)

電気自動車が普及したまち(8項目)

横断的な取組(2項目)

脱炭素のまちのイメージや課題は共通。
人材、アイデアなど資源の共有化を図り
効率的な活動を！

田園都市線沿線は地形・
交通環境が似ている

青葉気候市民会議の提案

1. 公共交通のネットワークが充実し利用しやすいまち(15項目)
 - ◆ 鉄道・バスの利用の促進
 - ◆ コミュニティバスの運行
 - ◆ 脱炭素に向けたタクシーへの対応(EV化、ライドシェア、…)
2. 交通手段が脱炭素化しているまち(5項目)
 - ◆ 自家用車、カーシェアリングサービス車の脱炭素化
 - ◆ 公共交通の脱炭素化
 - ◆ 充電設備等の関連インフラの整備
3. 徒歩・自転車での移動が便利なまち(14項目)
 - ◆ 徒歩・自転車の推奨
 - ◆ 歩行や自転車での移動が利便なまちづくり
 - ◆ シェアサイクルの普及
4. 効率的で利便性の良いまち(9項目)
 - ◆ コンパクトなまちづくり
 - ◆ 個人の移動を減らす生活の工夫
 - ◆ モノの配送回数を減らす買い物の工夫

脱炭素かわさき市民会議の提案

1. 公共交通機関が便利で自家用車に依存せずに生活できるまち

- ◆ バス・鉄道の整備水準を上げる
- ◆ 拠点連携型の都市計画にする
- ◆ 乗り合いタクシー配達を促進するなどの地域シェアリング交通を整備する
- ◆ ゼロカーボン配達を促進する

2. 徒歩・自転車で暮らせるまち

- ◆ 自転車の通行環境を整備する。
- ◆ 歩行者の通行環境を整備する。
- ◆ シェアサイクルを展開する。
- ◆ 自転車利用にインセンティブを出す。

3. 電気自動車者が普及したまち

- ◆ 電気自動車の普及のためのインセンティブを与える。
- ◆ 市や公共交通機関が率先垂範して電動車を導入する。
- ◆ EV充電器を普及させる。

4. 横断的取組

- ◆ 2035年までに、電動車両は、脱炭素の工場・方法で製造されるように
- ◆ 拠点地域の鉄道駅において、歩行者の通行環境を整備し、バス等を除いて車両進入禁止の時間帯を設けるほか、自転車道の整備、バス利用の利便性向上等を強力に推進するモデルプロジェクトを立ち上げる。

2024年度の活動基本方針

—2つの学習会を開催—

移動・交通について、市民としてもっと理解を深めたい。

取っ掛かりをしっかりとつかんで、何をどうして、どのように活動していくのか、そして行動変化につなげていきたい。

交通、脱炭素と言えば、EV車、公共交通、まちづくりに着目



学習会の企画

1. EVの世界によろこそ：基礎知識から最新情報まで
2. 川崎・青葉における移動・交通分野の自治体の脱炭素戦略を学ぶ

第1回学習会

EVの世界によろこそ：基礎知識から最新情報まで

日時:2025年1月11日(土) 14:00-16:00

場所:にこぷら新地 川崎市高津区二子2-6-47 東急田園都市線二子新地駅 西口より徒歩2~3分
高架下のプロムナード沿いなので、雨でも濡れることなくお越しいただけます。

注)オンライン(Zoom)利用による参加可能

第一部：＜EV化とEV車の現状＞

講師：浅海 淳氏（脱炭素かわさきを進める市民の会メンバー（元自動車メーカー社員））

- 製造～廃車までのライフサイクルでの既存燃料車との比較
- バッテリーリサイクルについて
- 車両の選択や購入価格について（補助金）
- 安全性
- 維持費用と中古価格
- 公共施設での充電設備の展開状況

など

第二部：＜EV車購入サポート＞

講師：五島賢司氏（イブニオン(株)取締役
カスタマーズソリューション担当）

イブニオン社は、顧客にEVに関するサービスや情報を提供することを目的として設立。EVを取り巻く全てのモノやヒト、コトをつなぐプラットフォームとなることを目指す。

非常に実務的な学習会です。
2人の講師によるレクチャーの後に、参加者との間で質疑応答、意見交換を行います。

第2回学習会

川崎・青葉における移動・交通分野の自治体の脱炭素戦略を学ぶ

日時:2025年2月15日(日) 14:00-16:00

場所:SPRAS青葉台

横浜市青葉区青葉台 1-13-1 青葉台郵便局 2F・3F

SPRAS青葉台の入館口は、郵便局正面を右に曲がった先にあります

注)オンライン(Zoom)利用による参加可能

1. EVの導入促進策について
2. 公共交通の市民による利用の利便性向上に関して
3. 快適な自転車利用・方向の実現に向けた施策について
4. 利便性の豊かなまちづくり
 - (例:青葉) 地下鉄ブルーラインの延伸に伴う新駅を核としたコンパクトシティの整備

上記のテーマを話題として、横浜市（青葉区）及び川崎市の政策担当者から、自治体政策のお話を頂き、質疑応答・意見交換を行います。

今後の取り組みにむけての抱負、展望

新たな活動内容を模索中。シンポジウム参加の皆様からご意見があれば是非ご連絡を！！

以下はチームリーダーとしての素案、今後メンバーと検討を重ね具体化していきます。

* 学習会の活用

○今回の学習会の内容、質疑などの共有化。

例えばテキスト化や電子媒体（SNS、ホームページなど）への掲示

○仲間作り・・・興味のある方は是非参加を

○行政の施策の中から市民参加できるものに協力

○コンパクトシティの勉強会（海外事例を含む）

* EVの普及

○EVユーザー体験報告会（良い点、悪い点、事前に知るべき点など）

例えばテキスト化、電子媒体（SNS、ホームページなど）への掲示で共有化。

○EV試乗会、実車見学、充電設備見学（集合住宅の実例）

* 自転車の利便性向上

○自転車専用マップ作製（主要駅を中心に、坂道、混雑度、大型駐輪場・小型駐輪場などマップ化）

学習会に参加ください！

横浜あおば脱炭素しみんの会の活動にご参加ください！

学習会への参加希望の方のお申し込み先や問合せ先等は、
5人目の発表者(葉石さん)からまとめてお話いたします

**脱炭素青葉づくりを身の回りのできるところから
皆さまと楽しく息長く夢をもって取り組んでいきたいです**